

開催日時： 令和5年2月20日（月） 14時～15時45分

主な意見：

- ・石川県が日本海側のリーダーである旨を強く打ち出してはどうか。
- ・高等教育機関の集積など、石川県の特色を磨き、戦略的に活用して施策を展開する姿勢を求めたい。
- ・他県に先駆けて規制緩和を進めることで、新たな産業や雇用を生み出すことを目指してはどうか。
- ・多様な石川のコンテンツの打ち出し方、すなわち、物語が重要。
- ・隠れた観光資源を発掘して磨き上げるなど、日常生活の中にある文化にも目を向けながら、文化立県を目指す姿勢が必要ではないか。
- ・国民文化祭が一過性のものとならないよう、ポスト国民文化祭の取組が必要。
- ・にぎわいの創出には、民間の知恵を活用して、多様なコンテンツを打ち出していくことも有用と考える。
- ・北陸3県の広域連携や、県内においても、観光客が訪れる場所や時間を分散させることにより、旺盛なインバウンド需要に対応することが求められるのではないか。
- ・産業界のみによる人材確保の取組には限界があり、産業界と県が一体となって若者の県内就職を後押しする取組や、働き方改革と併せて地域全体の所得水準を上げる取組が求められるのではないか。
- ・高等教育機関の集積を活用した戦略として、誰もが、いつでも、どこでも学べる環境をつくり、リカレント教育を推進してはどうか。